

動き出した夢の構想

世界を結ぶ日韓トンネル



24日東京・赤坂のホテルニューオータニで開かれた日韓トンネル設立総会

世界各國をハイウェイで連結し世界を二つの大陸にしようという夢の構想が、いよいよ動き出した。その一環としてまず「日韓トンネル」の設立総会が五月二十四日東京・赤坂のホテルニューオータニで各員各層の人のびとを集め盛大に開かれた。

東京で設立總會開く

佐々保雄氏を中心として民間研究団体で調査が進められて来たもの。

人類を一つに理念に

目轉トネル構想は日本では國鉄技師らによつて戰前立てられた。昭和十六年に對馬

どの、馬肉は下部四九・二を差込み六六の一本のトルネルで。対馬は韓國國島南端至五五三・二は途中に深溝海峽のため鋭くとコクリト製のチュールを連ね出すという部中ノネルに於て、食料品三〇。これ世界最の賣出トル

一機関にて發見、昨年月には關國ハ概々安部、又團(理事長 櫻井安太郎)預定し、ポリング調査會が是。今回の設立に至る研究が進むにつれて關係者は期待をなしている。

今般設立總會は、名譽會長に正平寺、元立教學長、會長には友保謙、北

多額の反響をあげて、
が、固い意思と勇気をもって
当たりた「土掘」を述べた。
続いて、国際文化財財団事
長の久保本光氏も「これか
ら行われるプロジェクトが想
像を絶するべき困難な障害
の問題にちかぬのはほかに
ない」と述べ、政治的、道
徳的問題については並々ならぬ
問題があるのは当然であ
る。世界の心多の人々の協を得
て日本からスタートするとい
う責任・使命を担って、わが
国が何としても勝利！世界に
輪をひろげていきた」と語つ
た。



で陸上の地盤調査、翌年には
阿比北湖の川倉島、大野の
越嶺（しづ）もわかれた。
しかし本戦争で、即中は中
止となり、戦後は甚洒えと
なっていた。

その後呂宋は益々、五
十年に全建設は益々、大林
組がPR雑誌で、ユーラシ
ア・ドライヴウェイ構想）を

欧州に至るといふ壮大な構想
だ。

今日の國際ハवाई構想
は、これまでの間の研究を基
に、日韓・ニルガ・蘭島、日本
を結ぶ大まかに、日本
間には新横濱松崎船子（わか）の
4部を総て建設する、延
三十三、そのうち、南部二
を併せた構想、構想の

の距離の四倍の長さで、ま
さに土手前のトネになり
ました。

工事は約二十年、構想は三
兆だといつて、すでに構想を
實現させるために、佐々氏
もわたり五十七年五月に日
韓トネル計画研究会を、長
野平教授がフミナー（会長
松上正寿元）教大名誉博士の

海軍大名誉教授、國府ハナ
は、國安太郎、則本ハナ
エイ理事、理事田中長、佐々
木忠雄、前東京水産工學学

二 驅使に

長・金宗英・元大韓國民
日本大使がそれぞれ選ばれた。
総会では、研究統制の呼び掛け人を佐々木・松下正壽・元立憲主義塾が、「日韓トンネル」の最大の障礙は政治的困難である。人間関係の困難である。これを克服するには和の申しかけだ。」とある。

本名義経と異なり、長門太郎は現存の著書に「日韓トンネル」の格闘場面を幾回も書いていくやうな文章で

「現在『日本は終戦後、侵略戦争と皇国の不名誉を洗脱し、世界のために善い努力が来ている。日韓トンネルは日本世界の平和の進歩へ第一歩として

そのほか、来賓として自民党の参議院議員・戸塚進也氏は、「日韓友好と自由と平和を愛し国民の幸せを願ふその第一歩が日韓トンネル」であると述べ、満場の拍手を受けた。また参議院議員の安井謙氏ら三十人ほどの国会議員が出席祝電も数多く寄せられた。



総会で抱負を語る北海道大学名誉教授・佐々保雄会長

青函トンネル技術駆使 平和のかけ橋に

ている。その実現のためには